

東京ヲ初メ京坂地方各地ノ学术界有力者ヨリ懇切周到ニ与ヘラレタル視察上ノ便宜ニ対シ深謝ノ意ヲ表シ其筋ヘ之レカ伝達方ヲ申出テ本邦文物ノ顕著ナル発達殊ニ學術ノ進歩ヲ激賞シ学界ヲ通シテ兩國福利ノ共進共榮ヲ期シ度キ旨ヲ述ヘタリ又經濟視察団当地側代表格ノ当管区共済部長（旧市長格）「ガリーヒン」モ帰来本官來訪同シク今回本邦朝野ヨリ受ケタル非常ノ款待優遇深謝ト同時ニ之ノ視察ニヨリ勞農側カ本邦ニ学フヘキ処勸ナカラス經濟提携ノ実現兩國親交増進ノ可能ヲ直覺シタル旨ヲ語り本官ヨリ本邦各關係ノ向殊ニ東京市当局ノ与ヘタル本人今回視察上ノ尽力ニ対シ謝意伝達方申出居タリ而シテ彼等団員ハ帰来各自其關係官公衙乃至党諸派機關等ニ於テ報告講演ヲナシ新聞ニモ既報ノ通り発表シタルヲ以テ当地方一般ノ対日感情空氣良

3 その他文化交流

272 昭和2年2月25日 幣原外務大臣より
在ソ連邦田中大使宛（電報）

繪画展開催に關シ日露協会の經費負担は困難
な現状について

本省 2月25日後発

第三七号
往電第三五号ニ関シ

日露協会主事ノ語ル処ニ依レハ本件展覽会ノ主唱者タル日露芸術協会ハ經費ナキ為最近日露協会ニ主催方懇請シ来リタル趣ノ処同協会ニ於テモ經費問題ノ為引受ヲ躊躇シ居ル模様ナリ

又一方「ソヴィエト」大使館ニテハ日露芸術協会ヲ信用セス同芸術協会ノ本件展覽会主催ニハ賛成シ居ラサル由ナリ右御参考迄尚右様ノ次第二付本件展覽会ノ実行方ニ付テハ露国側主催者ヲシテ十分本邦主催者ト連絡ヲ保チ間違ラ生セサル様御注意相成様致シタシ

好ニシテ本官ノ執務上ニモ概シテ好影響ヲ与ヘタルノ感アリ要之這次之等有力量ノ本邦訪問ハ各自専門当事者間ニ実務上相当好果ヲ収メ得タルヘク殊ニ我方ノ待遇カ勞農側一般ニ非常ノ満足ト感謝ヲ与ヘタルハ今後ノ兩國親交乃至經濟提携ノ實現上効果尠ナカラサルモノアルヘキハ近来ノ欣快事ト被存今ヤ久原經濟特使ハ露都ニ入り後藤子爵ノ訪露亦近ク實現サレント伝ヘラル彼我兩國有力家ノ來往ハ益々相互關係ヲ密接ナラシムルモノアリ我國利ノ増進上慶ハシキ事ト被存

右及報告
在露大使、在哈府總領事代理、在哈市總領事、
在亞港總領事

273 昭和2年2月28日 在ソ連邦田中大使より
幣原外務大臣宛（電報）

繪画展の準備状況並に日露協会の協力に關ス
るソ連側主催者の期待について

モスクワ 2月28日後発
本省 3月1日前着

第八七号
貴電第三七号ニ関シ

当地主催者ニ注意ヲ与ヘタル処昨年一氏氏当地ニ旅行ノ際對外文化連絡協协会会长「カーメネフ」夫人ヨリ「ソ」連邦現代画家ノ作品展覽会ヲ日本ニ於テ催シタキモ經費問題ノ為実行ヲ躊躇シ居ル旨語リタルニ一氏氏ハ金ノ方ハ日本ニ於テ何トカナルヘントノ約言ヲ与ヘタルモ其ノ後何等ノ消息ニ接セサリシ為文化協会側トシテハ之ヲ当ニセサル事トシ文部委員部ヨリ經費ノ貸付ヲ受ケ他方日本ノ方ハ在本邦大使館「スベールビン」ト連絡ヲ取り準備ヲ進メ居ル次第ニシテ三月三日作品ノ審査ヲ終リ次第荷作発送ノ手筈ナリ尤モ日露協会ノ如キ信用有ル機關ノ精神的援助ハ大ニ望ム

処ナリト語レリ右御参考迄

274 昭和2年2月28日 松村(義一)内務省警保局長より
堀田外務省欧米局長宛

ソ連の対日宣伝に絵画展が利用されないよう

内務省からの注意喚起

警保局外発乙第二九号 (3月2日接受)

昭和二年二月二十八日

内務省警保局長

外務省欧米局長殿

露国現代絵画展覧会出品物ニ関スル件

本件ニ関シ本月九日付欧一機密第一一二号ヲ以テ御通報有之委細了承右絵画展覧会ハ露国ノ美術自体ノ紹介ヲ目的トスルモノナルニ於テハ風俗公安ヲ害セサル限り其ノ開催ニ就テハ敢テ容喙ノ必要可無之ト被存候ヘ共客年十月六日付内務省警秘第九九三号ヲ以テ申進置候同年八月露国大使館内ニ開催シタル露国展覧会終始ノ状況並今回ノ催ニ就テハ露国大使館通訳官スパルウイン其衝ニ当リ居ル模様等ニ微シ右ハ或ハ昨年ノ展覧会同様大使館又ハ領事館内等ヲ会場トシ絵画出品ニ藉ロシ不穩文書類ヲモ陳列シ広ク之ヲ一般

受方御依頼ノ趣致敬承候右ハ本大臣ニ於テ欣然受諾可致候

ニ付右様御了知相成度此段申進旁本大臣ハ茲ニ重ねテ閣下ニ向テ敬意ヲ表候 敬具

(付記一)

拝啓

露西亜美術展覧会につき先般来御厚配を蒙り誠に有難う存じます。その後会見又会見で幾多の曲折を経ましたが、やうやく別紙契約書のやうな条件で話がまとまり明四日午後三時露大使館で調印といふところまで漕付けました。調印が完全に済んだ後でない^(省略)と定まつたとも申上げられませんが、不取敢契約書の^(省略)を御覧に入れます。

右は小生参上御話申上ぐべきですが、新築落成後の新事業の為非常に多忙を極めておりますので乍失礼書面を以て申上げる次第です。不悪御承知を願ひます。 敬具

昭和二年四月三日

成澤 金兵衛

外務省欧米局長

堀田 正昭様

追て宮崎第一課長によりしく御鳳声願上ます。

ニ観覧センメ宣伝ノ実ヲ挙クルカ如キ結果ヲ招来スルナキヲ保シ難ク被存候条本件ニ就テハ貴省ニ於テモ特ニ御注意ノ上若シ如上ノ傾向有之節ハ前記照会ノ趣旨ニ依リ可然御配慮相煩度

275 昭和2年4月9日 幣原外務大臣より
在本邦ソ連邦大使宛

絵画展名誉総裁に幣原外相の就任受諾

付記一 昭和二年四月三日付東京朝日新聞社成澤金兵衛より堀田外務省欧米局長宛(書簡)

朝日新聞社主催による絵画展開催契約書の成立に関する報告

立に関する報告

二 昭和二年六月二日付朝日新聞社より日露協会宛(書簡)

絵画展東京会場閉幕に際して日露協会の協力

に対する謝意表明

欧一普通第一五号

「ソヴィエト」連邦美術展覧会名誉総裁引受

方ニ関スル件

以書翰致啓上候陳者「ベセドウスキー」氏ヨリ客月二十九日付書翰ヲ以テ「ソヴィエト」連邦美術展覧会名誉総裁引

(付記二)

拝啓 貴下益々御清栄段奉賀候

此の度全ソビエト対外連絡協会東京大阪朝日新聞社協同主催にかゝる新ロシア美術展覧会開催に当つては御後援を御承諾下され候上にも種々御配慮相煩はしお蔭を以つて入場者六千余名の好成績を挙げ三十一日無事東京に於ける展覧会を閉づる運びに至り候段誠に感謝に堪えず深く御礼申上候

猶引続き六月十六日より同三十日迄で大阪朝日会館にて最後の展覧会を相催す可く候間同様御配慮の程懇願奉候

昭和二年六月二日

朝日新聞社(印)

日露協会殿

276 昭和3年7月3日 在ウラジオストック渡辺総領事より
田中外務大臣宛

歌舞伎の訪ソ公演に関する新聞報道振り

公第二三七号 (7月7日接受)

昭和三年七月三日

在浦潮斯德

総領事 渡辺 理恵(印)

外務大臣男爵 田中 義一殿

歌舞伎一座ノ披露ニ関スル新聞記事報告ノ件
歌舞伎一座ノ訪露決定シ一座ノ大部分カ当地通過ト定マル
ヤ当地新聞紙ハ之ニ関スル報道記事ヲ屢々掲載シ漸次一般
社会ノ興味ヲ惹クニ至レリ客月二十七日ノ当地機関赤旗紙
ハ本件ニ関シ「親善ノ新シキ環」ト題シ大要左ノ通り論セ
リ

過般駐日通商代表アニーケフ氏ハ日蘇ノ経済的亲善ノ報
ヲ齎シ此度吾人カ歌舞伎一座ヲ迎フルハ劇ヲ通シテ文化
的ニ日蘇ノ親善ヲ高調スル第一歩ナリ一座今次ノ訪露ハ
「ソ」連邦対外文化協会ノ契約ニ依ルモノニシテ日本劇
団ノ海外初回ノ進出ナリ歌舞伎座ハ日本劇界ノ粹芸術ノ
真髓ニシテ幾百年ノ歴史ヲ有ストテ該劇ノ西欧劇ト異ナ
レル特点ヲ推称シ日本ノ社会此ノ挙ヲ重要視スルハ諒ト
スヘク吾人「ソ」国民亦文化的接近ノ渴望カ此ノ如ク達
セラルルヲ喜ヒ且誇レルモノナリ

芸術ハ民族ヲ互ニ融和セシメ相互ノ称揚理解ヲ齎スモノ
ナリトノ吾人ノ見解ハ恐ラク日本ノ一般社会モ之レヲ同

付記 昭和三年七月十七日付在ウラジオストック渡辺

総領事より田中外務大臣宛公第二五一号

歌舞伎一行に対する歓迎振り詳報

ウラジオストック 7月17日後発

本 省 7月18日前着

第七七号

拙信第九五号歌舞伎座一行十六日当地ニ着スルヤ労農官民
ハ楽隊ヲ以テ港外ニ出迎ヘ市内ノ案内歓迎宴ト当地方赤化
以来未曾有ノ歓待振ヲ發揮シ席上芸術共通兩國親善ヲ高調
シ同夜多数日「ソ」官民ノ歓送裡ニ莫斯科ニ向ケ出発セリ
在露大使へ転電セリ

(付記)

公第二五一号

(7月23日接受)

昭和三年七月十七日

在浦潮斯徳

総領事 渡辺 理恵(印)

外務大臣男爵 田中 義一殿

歌舞伎一座ノ浦潮ニ於ケル歓迎状況ニ関スル
件

フスルモノト信ス依テ吾人芸術界ハ素ヨリ一般社会ハ彼
等ヲ賓客トシテ衷心歓迎シ吾人カ如何ニ文化親善ト相互
接近ヲ尊重スルモノナルカヲ実証セサルヘカラス云々

本座ノ訪露ニ関シテハ当地外務代官ハ予テ其筋ヨリ充分ノ
便宜供与方訓令ヲ受ケ居ル旨語り居タルカ三十日ノ赤旗紙
上ニハ当地外務部ノ東京ヨリノ報道ナリトテ一座先発隊ノ
報ヲ掲ケ併セテ一座当地上陸ニ際シ通関上不快無カラシメ
ントテ当該官憲ノ便宜供与方ヲ懇懇セリ

尚右一行先発準備員タル長谷川音太郎、小林重資及菅原清
五郎ノ三名ハ本月二日ノ嘉義丸ニテ来浦外務代官ゲイツマ
ン氏ハタリヤワ書記官ト共ニ本船ニ一行ヲ迎ヘ同官邸ニ同
行シ当地芸術協会代表等ト共ニ歓待市内ノ案内荷物ノ簡易
通関其他ノ世話ヲ懇切ニ取扱ハンメタルカ一行ハ同夜急行
列車ニテモスコニ向ケ出発シタリ

右報告ス

写送付先 在露大使

277 昭和3年7月17日

在ウラジオストック渡辺総領事より
田中外務大臣宛(電報)

歌舞伎一行に対する歓迎振り報告

本月三日付公第二三七号拙信ヲ以テ及報告置タル通今次歌
舞伎一座ノ訪露ニ関シテハ当局側ハ中央ハ素ヨリ各地方新
聞ニ於テモ盛ニ歓迎ノ宣伝ヲナシ当地機関紙ハ其後本月十
五日再ヒ歓迎ト題シ別紙切抜甲号^(省略)ノ通同座ノ歴史乃至名優
ノ経歴等ヲ詳述シ他方当局者ハ各種準備ヲナシ居タルカ十
六日朝嘉義丸入港ニ先タチ露側ハ当地歓迎委員隊(全蘇芸
術者組合浦潮支部長官憲側代表其他有志)搭載セル小蒸汽
ヲ港外ニ派シ楽隊付ニテ一座ヲ迎ヘ本船ノ着埠スルヤ外務
代官管区行政部長市ソウニト議長其他代表的人物及多数ノ
男女芸術家ハ本船ニ出迎ヘ埠頭ノ群集ト共ニ白熱的歓迎気
分ヲ發揮セリ(本官モ要務旁々民会代表等ト共ニ本船ニ出
掛ケタリ)午前十一時上陸後露側ハ直ニ多数ノ自動車ニ分
乗シテ市中ヲ案内シ終ツテ小憩後午後二時芸術者組合浦潮
支部主催ノ当市「ゾロトイロード」劇場内歓迎会場ニ招セ
リ

主客百三十余名露側ノ主ナル者ハ前記外務代官夫妻芸術者
組合浦潮支部長当地職業組合支部長労働諸機関代表男女知
名ノ俳優等ニシテ賓客トシテハ左団次夫妻以下全一座ニシ
テ本官夫妻館員居留民会頭代理嘉義丸船長招待サレタリ開

会劈頭外務代官「ゲイツマン」ハ莫斯科政府及当地官憲ヲ代表シ「日蘇文化的親善ノ使者タル遠来ノ客ニ対シ滿腔ノ敬意ト歓迎ノ意ヲ表ス云々」熱誠ナル歓迎ノ辞ヲ述ヘタルニ対シ左団次ハ満場ノ拍手裡ニ之ニ答辞ヲ陳フル所アリ次テ主客交々起ツテ日蘇文化親善ヲ高唱セルカ本官亦一場ノ挨拶ヲ試ミ露側ノ好意ヲ謝シ訪露一座カ日蘇親善ニ資スル所アルヘキヲ希望シ置ケリ

此ノ日主催者側ハ態々蒲中ノ優芸家ヲ招シ或ハ演劇或ハ舞踏音楽等自己ノ演芸ヲ奏演シテ一行ヲ犒ヒ楽隊ハ日蘇兩國々歌ノ伴奏等「春雨」其他日本俗曲ヲモ奏シテ重立チタルモノノ胴揚ケ等アリ全能ヲ尽シタル歓待振りハ場内ノ空気がシテ自ラ地方赤化後未曾有ノ日蘇親善会ト化セシメタリ

斯クテ一座ハ午後十時半ノ急行列車ニテ当駅ヲ出発セルカ見送りニ際シテモ出迎ト同様ノ熱誠ナル大衆駅内外ヲ埋メ一行ハ満足無事莫府ニ向ヘリ

一行出発後ノ本十七日赤旗紙上ニハ別紙乙号切抜(省略)ノ如キ更ニ仰々シキ好意的宣伝ト周到ナル紹介ヲ掲ケテ要之訪露歌舞伎一座ニ対スル当地露側ノ歓迎振りハ義理一遍的ノモ

右報告ス

本信写送付先 在露大使

279 昭和3年7月25日 在ハバロフスク川角総領事代理より
田中外務大臣宛

歌舞伎に対する反響等報告

(8月6日接受)

公第一六七号

昭和三年七月二十五日

在ハバロフスク

総領事代理 川角 忠雄 (印)

外務大臣男爵 田中 義一殿

歌舞伎俳優左団次一行歓迎ニ関スル件

今回露国側ヨリ招聘ヲ受ケテ渡露スル歌舞伎俳優左団次夫妻松蔭一行ノ動静ニ関シテハ極東露ノ諸新聞ハ屢次報道スル所アリタルカ当地方劇界及一般官民ハ好奇ノ眼ヲ以テ其ノ来哈ヲ待設ケ度々通過時日ヲ当館ニ問合セリ

同一行四十六名ハ七月十六日蒲潮上陸ノ当日同地官民ヨリ盛大ナル款待ヲ受ケタルカ翌十七日夕刻当地通過ニ際シテハ極執委員会代表トシテ同行行政部長同外事課長外務部代表極東教育部代表及極東芸術協会長其他多数ノ官民ハ当地駅

ノニ非ス所謂息ヲモ継カセサル白熱的歓迎ノ誠意ヲ以テ終始セルモノト云フヘク所謂芸術ヲ通シテノ日露親善ヲ希望セルモノト認ムルヲ得ヘキカ

右御参考迄及報告

本信写送付先 在露大使

278 昭和3年7月23日 在ノヴォシビルスク高橋(清四郎)領事
館事務代理より
田中外務大臣宛

歌舞伎一行に対する歓迎振り報告

公第六二号

昭和三年七月二十三日

在ノヴォシビルスク

領事館事務代理 高橋 清四郎 (印)

外務大臣男爵 田中 義一殿

当地露側ノ左団次一座大歓迎ニ関シ報告ノ件

露都行左団次一座ハ本二十三日当地通過「モスコ」ヘ向ヒタルカ停車場ニハ当地方芸術家組合地方国営劇場機関紙等一座ヲ出迎ヘ芸術家組合ハ左団次ニ対シ組合徽章ヲ又国営劇場ハ同劇場ノ「アリボム」ヲ贈リ大歓迎ノ意ヲ表セリ

ニ於テ出迎ヘタリ本官ハ露官民ニ対スル手前モ有之当館々員滞哈中ノ当業者数名ト共ニ駅迄出向キ紹介斡旋ノ勞ヲ取り置タリ

同夕極東教育部長「ローボフ」ハ極執委員会ヲ代表シ左団次一行ノ入露ニ付蘇連邦ハ日本芸術ノ代表者ヲ歓迎スルコトヲ欣幸トス蘇連ハ今ヤ文化的革命ノ時期ニアルヲ以テ同一行ノ渡来ハ極メテ意義アルモノト思考ス一行ノ来訪ハ隣邦両国民ノ親交ヲ益鞏固ニス帰路極東露ニ立寄ランコトヲ切望ス云々ト述ヘタルニ対シ左団次ハ一行ヲ代表シ我々歌舞伎俳優カ露国民衆ノ希望ニ依リ欧露ヘ赴クニ付極東露官民ヨリ斯クモ熱誠ナル歓迎ヲ受クルコトハ一同ノ期待セサル所ニシテ懇切ナル友情ニ対シ衷心ヨリ謝意ヲ表スル旨答礼シタリ

次テ極東芸術協会及職業組合代表ハ簡單ニ歓迎ノ辞ヲ述ヘ民衆ヨリモ種々ノ質問ヲ発シ帰路哈府ニ立寄り公演スルコトヲ懇望シタルカ左団次ハ莫斯科及レーニングラドニ十二日宛演伎セサルヘカラス俳優ノ多数ハ帰路ヲ急キツツアルニ付折角ノ貴意ニ応スル能ハサルヲ遺憾トスル旨応答セリ露国民衆ハ一般ニ芸術ニ対スル深キ理解尊敬ヲ有シ蘇連政

府ハ劇場及活動写真等ニ財的援助ヲ与ヘ官営トナシ教育部
之ヲ監督指導シ以テ氏衆ノ思想輔導娛樂機関トナシ我国ニ
於ケルソレトハ趣ヲ異ニスルモノアルカ歌舞伎俳優一行カ
披露シ我古有ノ芸術ヲ歐露ニ紹介セルニ至レル一事ハ極東
露官民ニ対シ少カラサル感興ヲ与ヘタルモノノ如シ
七月十九日極執機関紙「太平洋星」紙ノ「歌舞伎俳優一行
歓迎」ト題スル記事切抜^(省略)一葉相添ヘ右何等御参考迄茲ニ報
告ス

本信写送付先 在露大使、在浦潮、亜港、各総領事

280 昭和3年7月26日 在オデッサ島田領事より
田中外務大臣宛

歌舞伎に対する反響等報告

公第一九四号 (8月29日接受)

昭和三年七月二十六日

在オデッサ

領事 島田 滋(印)

外務大臣男爵 田中 義一殿

歌舞伎一行来露ニ関スル論調報告ノ件

今回ノ市川左団次一行莫斯科訪問ニ関シテハ当地機関紙始

メ一般市民モ多大ノ興味ヲ有シ其都度歌舞伎一行ノ動静ニ
関シ記事ヲ掲載シ居タルカ七月二十五日ニハ一行ニシテ若
シ莫斯科「レニングラド」ノ外「ウクライナ」ヲモ来訪ス
ル様ノコトアルニ於テハ「オデッサ」ヲモ忘れサランコト
ヲ望ム旨ヲ述ヘタルカ要スルニ今回ノ歌舞伎一行ノ催シハ
両国ノ諒解上資スル所尠カラスト思考セラル
右何等御参考迄ニ報告ス

281 昭和3年8月4日 在ウラジオストク渡辺総領事より
田中外務大臣宛

モスクワにおける歌舞伎についての反響等報告

公第二六〇号 (8月14日接受)

昭和三年八月四日

在浦潮斯德

総領事 渡辺 理恵(印)

外務大臣男爵 田中 義一殿

歌舞伎一座訪蘇ニ関シ続報ノ件

本件ニ関シテハ客月三日付拙信公第二三七号ヲ以テ当地ニ
於ケル歓迎振ニ就キ報告ノトコロ其後同月二十九日ノ当地

機関赤旗紙ハ「タッス」莫斯科通信トシテ同一行ノ二十六
日無事着莫ヲ報シ三十日ニハ対外文化協会主催ノ一行歓迎
会ニ関シ報セリ同席ニハ大使館員在留邦人外務文部委員会
主腦者及文化協会員等出席シ同席上酒匂代理大使ハ別添切^(省略)
抜ノ通り大要文化協会ノ斡旋ニヨリ日本芸術ヲ「ソ」国ニ
紹介シ得タルヲ喜ヒ且近ク「ソ」芸術ノ来邦ヲ期待ス同時

ニ将来日蘇両国間ニハ政治的文化的共ニ層一層ノ親善ヲ熱
望スル旨ノ演説ヲ為セリ
右及報告

本信写送付先 在露大使